

大柱2 安全・安心に暮らせる社会の実現

2-1 生活上様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備

指 標	現状値 (基準値)	目標値	実績値
きまって支給する現金給与額 (男女格差：/男性を100とした場合)	2019年度 69.8%	継続的に 格差縮小	2023年度 73.0%

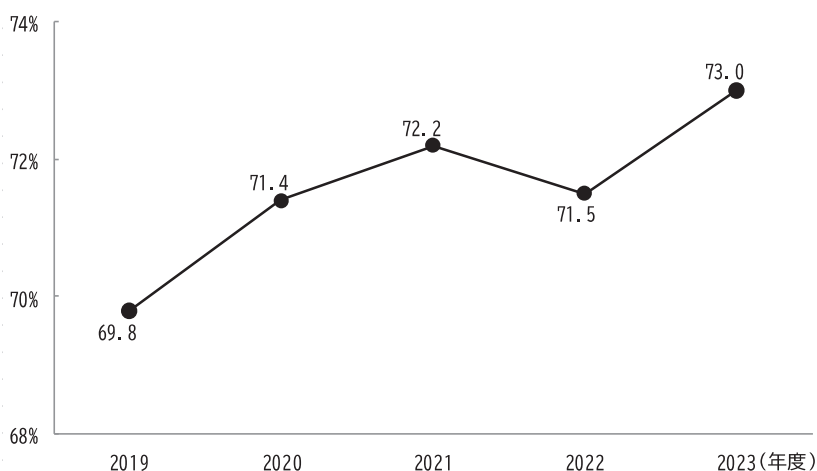
16 きまって支給する現金給与額 (男女格差：/男性を100とした場合)

きまって支給する現金給与額は、男性を100とした場合、女性は73.0%（2023年度）と、格差は縮小傾向ですが、依然として隔たりがあります。

（図16）

16 きまって支給する現金給与額 (男女格差：/男性を100とした場合)

図16



（資料）「賃金構造基本統計調査」（厚生労働省）

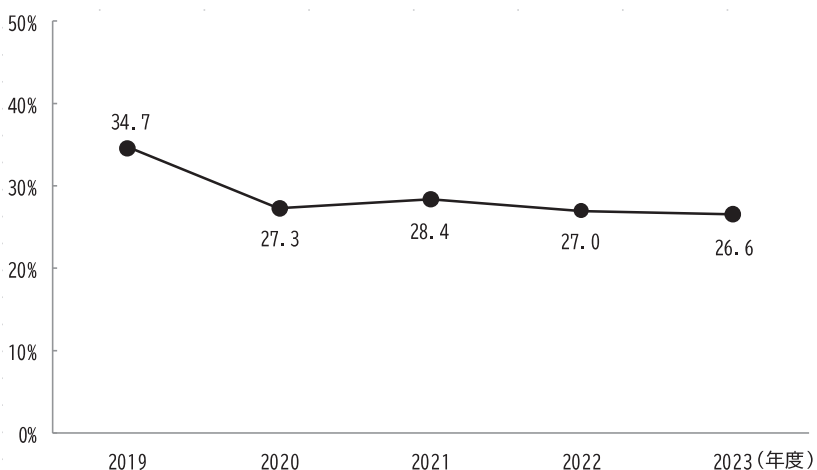
17 ひとり親の就職率

ひとり親の就職率は26.6%（2023年度）と、前年度から低下しました。

（図17）

17 ひとり親の就職率

図17



（資料）静岡労働局調べ

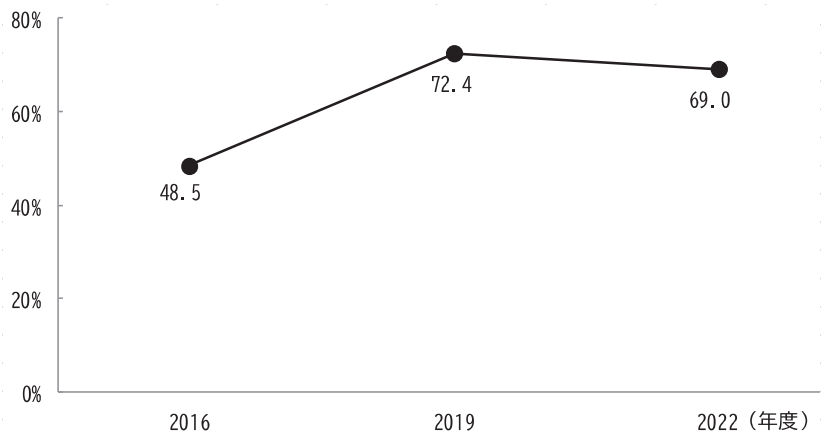
18 社会参加している高齢者の割合

社会参加している高齢者の割合は69.0%（2022年度）と、前回調査時から減少しました。

（図18）

18 社会参加している高齢者の割合

図18



（資料）「高齢者の生活と意識に関する調査」

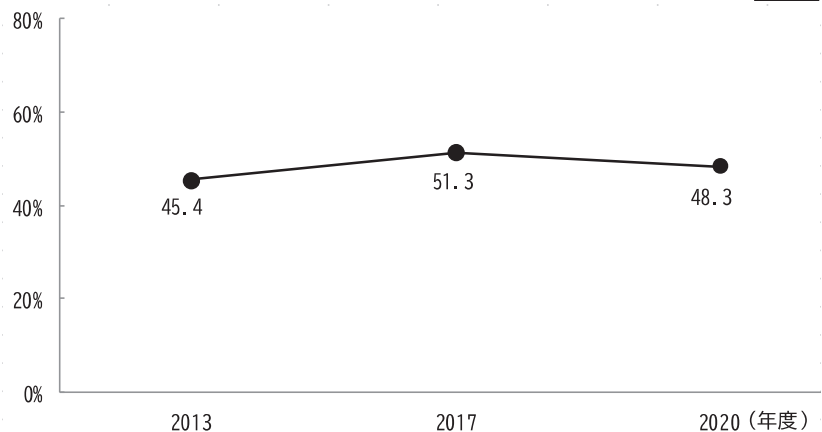
19 自立し社会参加していると感じている障害のある人の割合

自立し社会参加していると感じている障害のある人の割合は48.3%（2020年度）と、前回調査時から減少しました。

（図19）

19 自立し社会参加していると感じている障害のある人の割合

図19



（資料）「静岡県障害のある方の実態調査」

20 かめりあによる出張相談会・専門家による相談会の開催回数

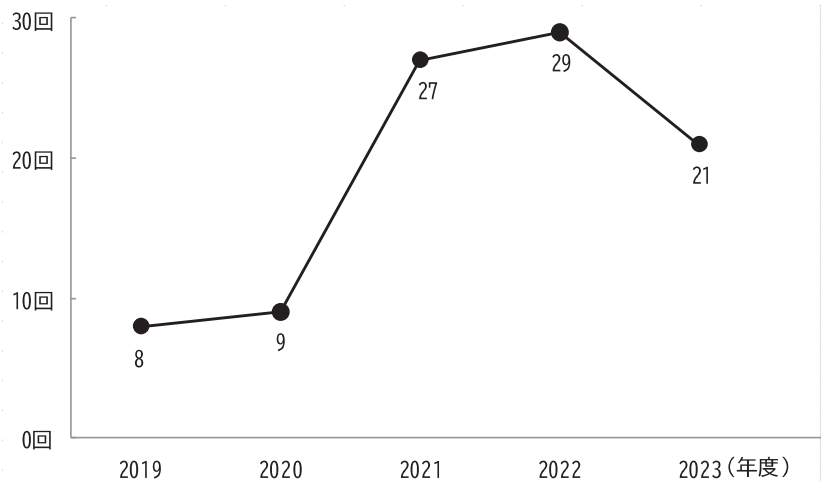
かめりあ（静岡県多文化共生総合相談センター）による出張相談会・専門家による相談会は、21回（2023年度）開催しました。

（図20）

*2021年度に開始した法律相談会の回数を含む

20 かめりあによる出張相談会・専門家による相談会の開催回数

図20



（資料）県多文化共生課調べ

大柱2 安全・安心に暮らせる社会の実現

2-2 ジェンダーに基づく暴力の根絶

指 標	現状値 (基準値)	目標値	実績値
精神的な暴力をDVとして認識している人の割合 (夫婦やパートナー間で「他の異性との会話を許さない」という行為をされた場合に暴力として認識している人の割合)	2019年度 76.5%	2025年度 80%	2024年度 81.1%

21 精神的な暴力をDVとして認識している人の割合

(夫婦やパートナー間で「他の異性との会話を許さない」という行為をされた場合に暴力として認識している人の割合)

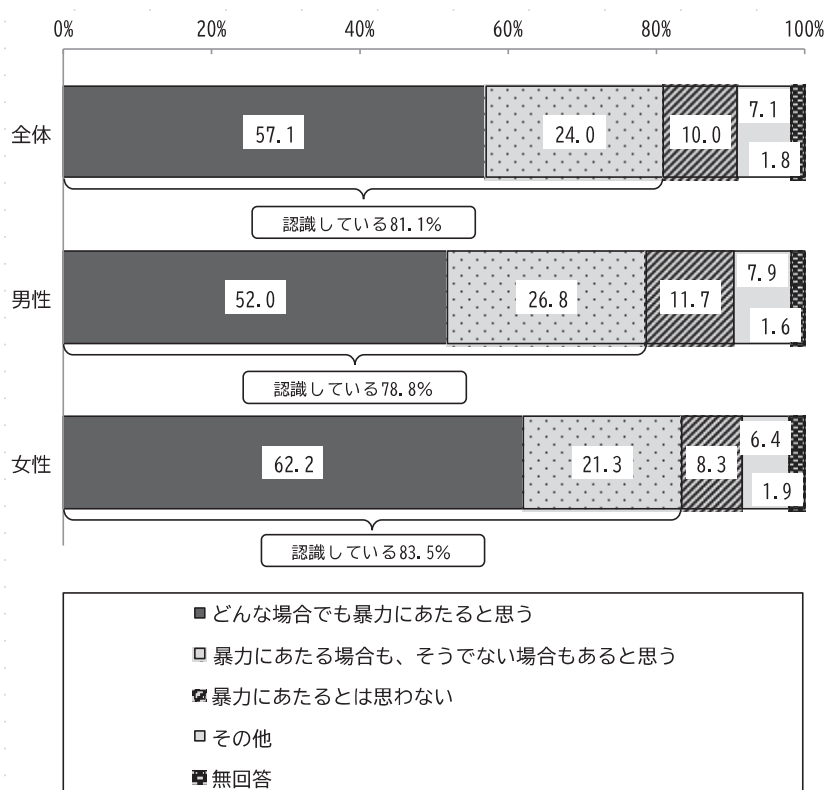
「他の異性との会話を許さない」という行為をされた場合に暴力として認識している人*の割合は81.1%でした。

(図 21)

* 「どんな場合でも暴力にあたると思う」と「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」と答えた人

21 精神的な暴力をDVとして認識している人の割合

図 21



(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査 (2024)」

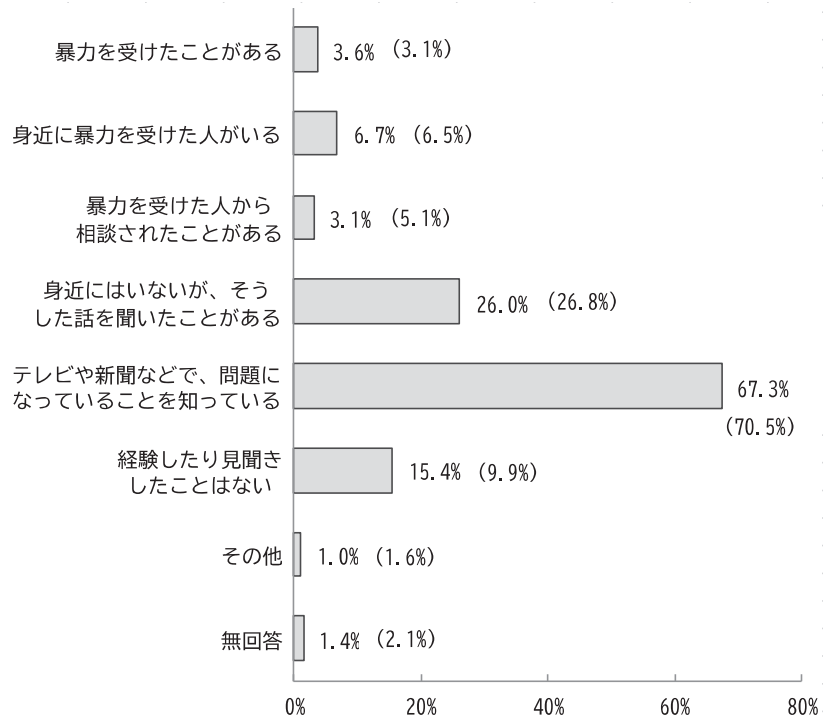
22 過去1年間にDVを受けたことがある人の割合

「暴力を受けたことがある」と答えた人の割合は3.6%と、前回調査時から増加しました。

(図22)

22 過去1年間にDVを受けたことがある人の割合

図22



※ () 内は2021年度調査の数値

(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

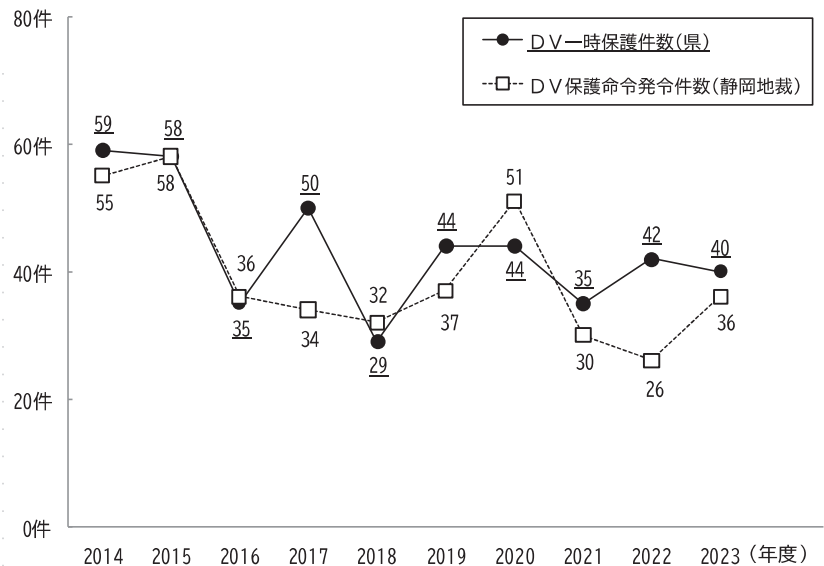
22-① DV被害者の一時保護件数及び保護命令発令件数

DV被害者の一時保護件数は40件、保護命令発令件数は36件(ともに2023年度)でした。

(図22-①)

22-① DV被害者の一時保護件数及び保護命令発令件数

図22-①



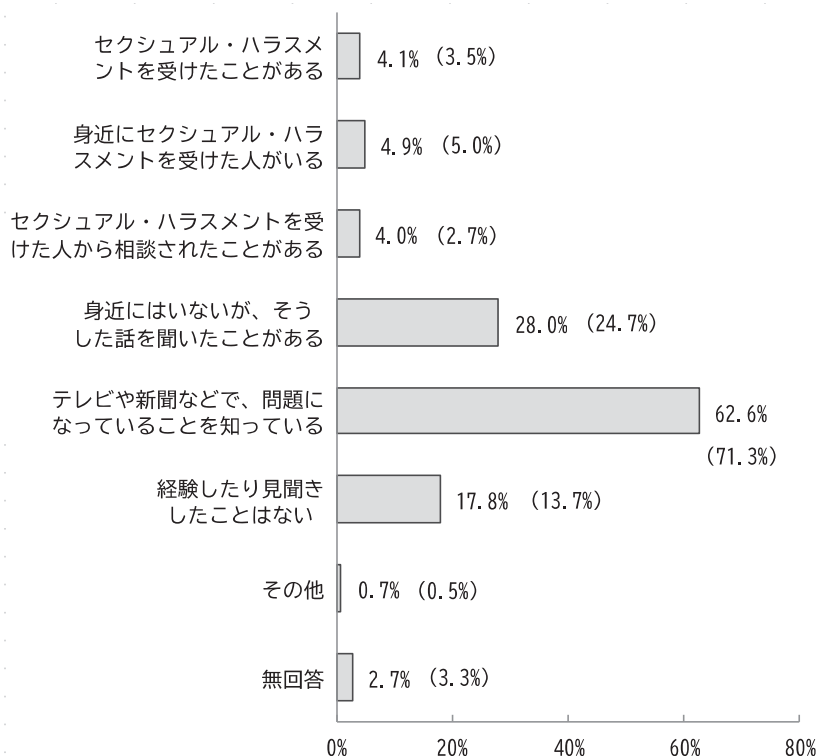
(資料) 県子ども家庭課調べ、最高裁判所事務総局民事局調べ

23 過去1年間にセクシュアル・ハラスメントを受けたことがある人の割合

「セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」と答えた人の割合は、4.1%と、前回調査時から増加しました。(図23)

23 過去1年間にセクシュアル・ハラスメントを受けたことがある人の割合

図23



※ () 内は2021年度調査の数値

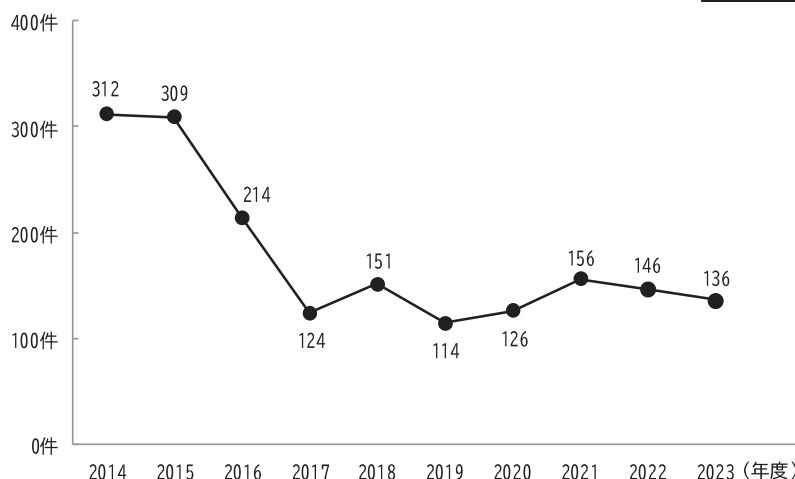
(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

23-① 職場におけるセクシュアル・ハラスメント相談件数

セクシュアル・ハラスメント等の相談件数は136件(2023年度)と、前年度から減少しました。(図23-①)

23-① 職場におけるセクシュアル・ハラスメント相談件数

図23-①



(資料) 静岡労働局調べ

24 県内の男女共同参画に関する相談窓口におけるDV相談の件数

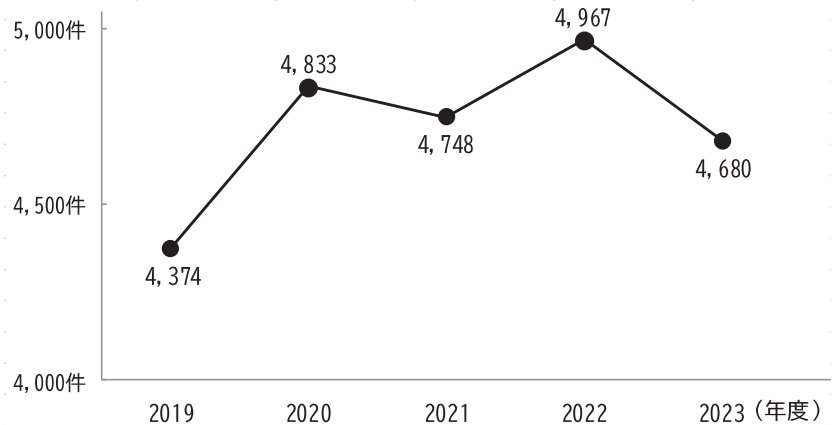
県内の男女共同参画に関する相談窓口におけるDV相談の件数は4,680件（2023年度）と、前年度から減少しました。

（図24）

*件数は、県男女共同参画センター、県女性相談センター及び県内市町女性相談窓口における、DVに関する相談件数の合計

24 県内の男女共同参画に関する相談窓口におけるDV相談の件数

図24



（資料）県男女共同参画課調べ

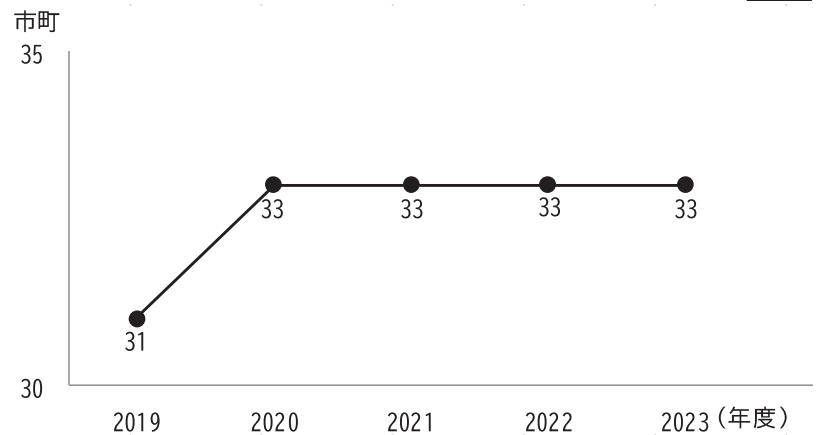
25 DV防止ネットワーク設置市町数

DV防止ネットワークを設置している市町の数33市町（2023年度）と、横ばいの状況です。

（図25）

25 DV防止ネットワーク設置市町数

図25



（資料）県子ども家庭課調べ

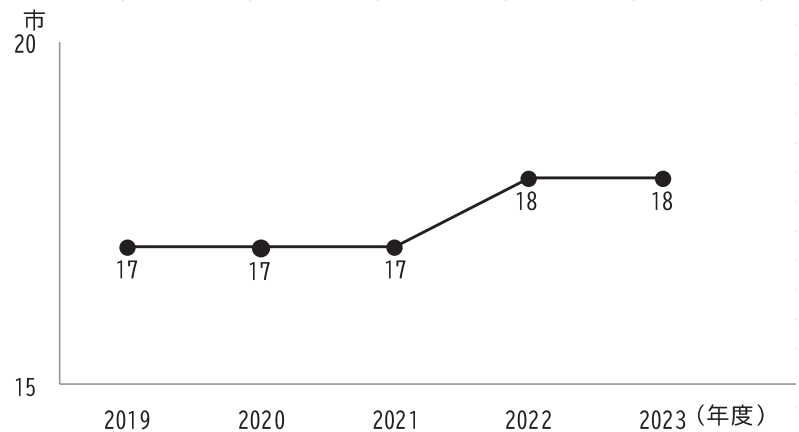
26 女性相談員の配置市数

女性相談員を配置している市の数は18市（2023年度）と、横ばいの状況です。

（図26）

26 女性相談員の配置市数

図26



（資料）県子ども家庭課調べ

大柱2 安全・安心に暮らせる社会の実現

2-3 リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の視点に立った健康保持・増進

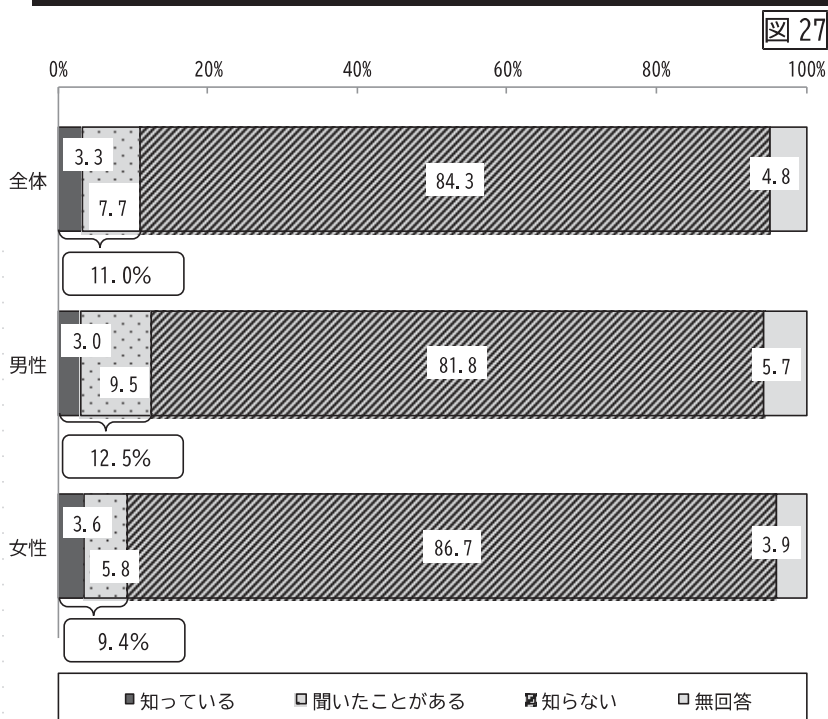
指標	現状値 (基準値)	目標値	実績値
「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という用語を知っている(「知っている」+「聞いたことがある」)人の割合	2019年度 12.4%	2025年度 30%	2024年度 11.0%

27 「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という用語を知っている(「知っている」+「聞いたことがある」)人の割合

「知っている」+「聞いたことがある」人の割合は、全体で11.0%と低い状況です。

(図27)

27 「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という用語を知っている(「知っている」+「聞いたことがある」)人の割合



(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

28 乳がん検診受診率

乳がん検診の受診率は、45.9%（2022年度）と、前回調査時から減少しました。

（図28）

29 子宮頸がん検診受診率

子宮頸がん検診の受診率は、44.0%（2022年度）と、横ばいの状況です。（図29）

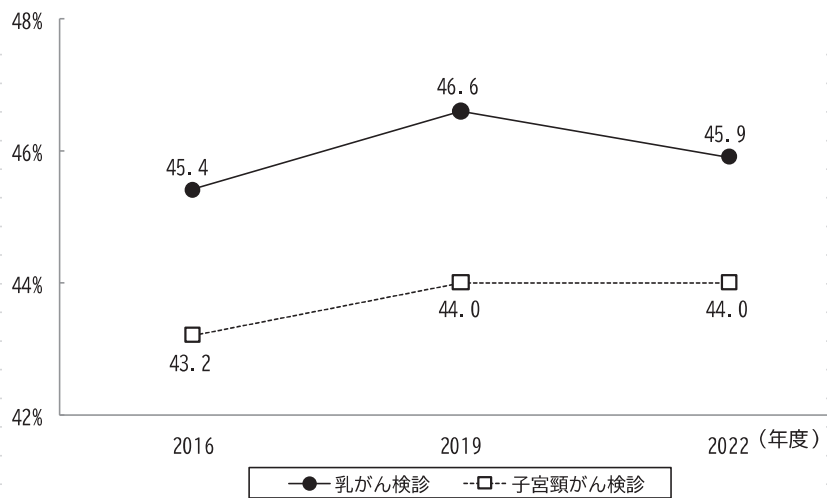
29-① 乳がん、子宮がんの75歳未満年齢調整死亡率

乳がん、子宮がんの75歳未満年齢調整死亡率は、横ばいの状況です。

（図29-①）

28・29 乳がん、子宮頸がん検診受診率

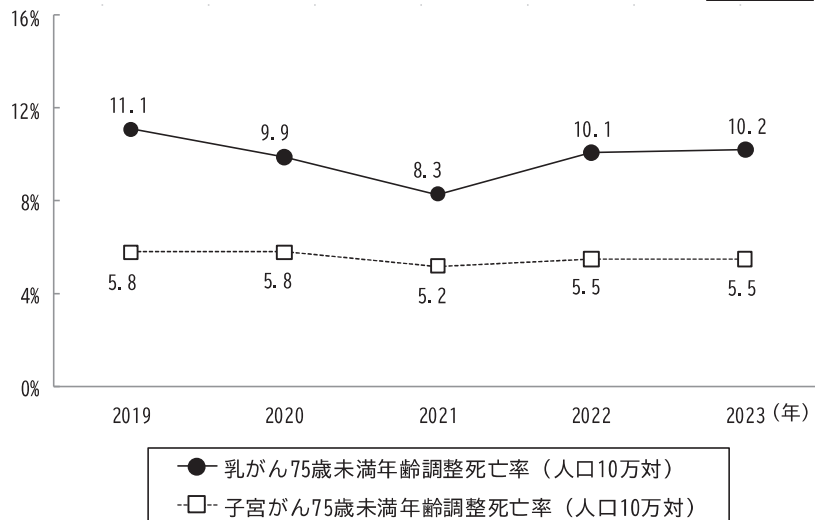
図28・29



（資料）「国民生活基礎調査」（厚生労働省）

29-① 乳がん、子宮がんの75歳未満年齢調整死亡率

図29-①



（資料）国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

30 特定健診受診率

特定健診受診率は、59.2%（2022年度）と、前年度から上昇しました。

（図30）

31 特定保健指導実施率

特定保健指導実施率は27.5%（2022年度）と、前年度から上昇しました。

（図31）

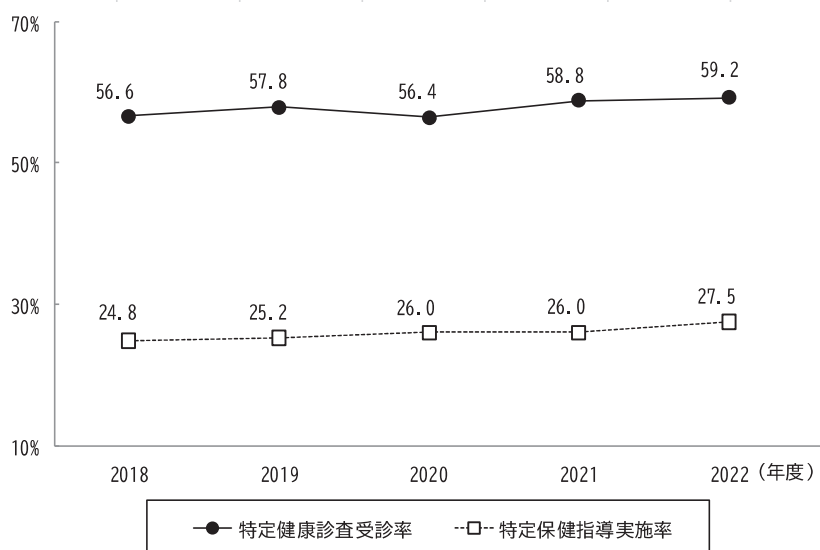
32 20歳以上の者の喫煙率（喫煙習慣のある人の割合）

県の20歳以上の者の喫煙率（喫煙習慣のある人の割合）は、16.4%（2022年）と、前回調査時から減少しました。

（図32）

30・31 特定健診受診率、特定保健指導実施率

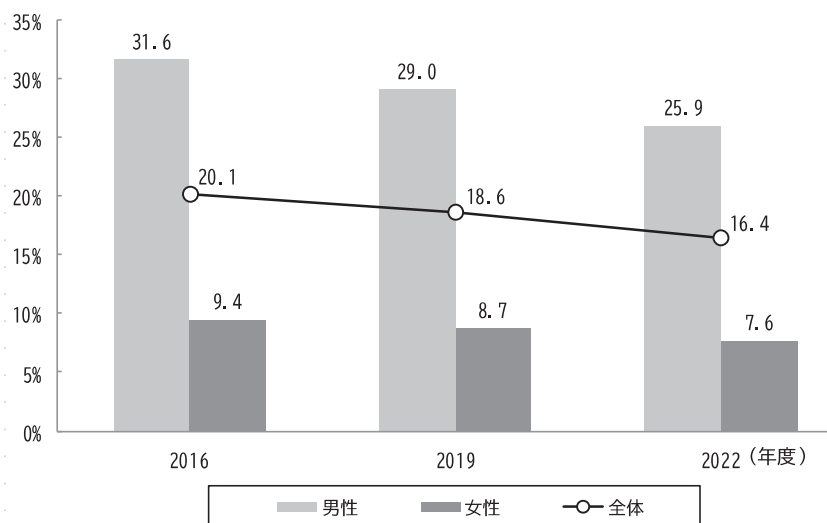
図30・31



（資料）厚生労働省調べ

32 20歳以上の者の喫煙率（喫煙習慣のある人の割合）

図32



（資料）「国民生活基礎調査」（厚生労働省）